

(仮称)松戸市文化スポーツ創造のまち 推進方針について

文化スポーツ部 文化スポーツ政策課

<構成案>

推進方針

目指すまちの姿－重点戦略－重点施策

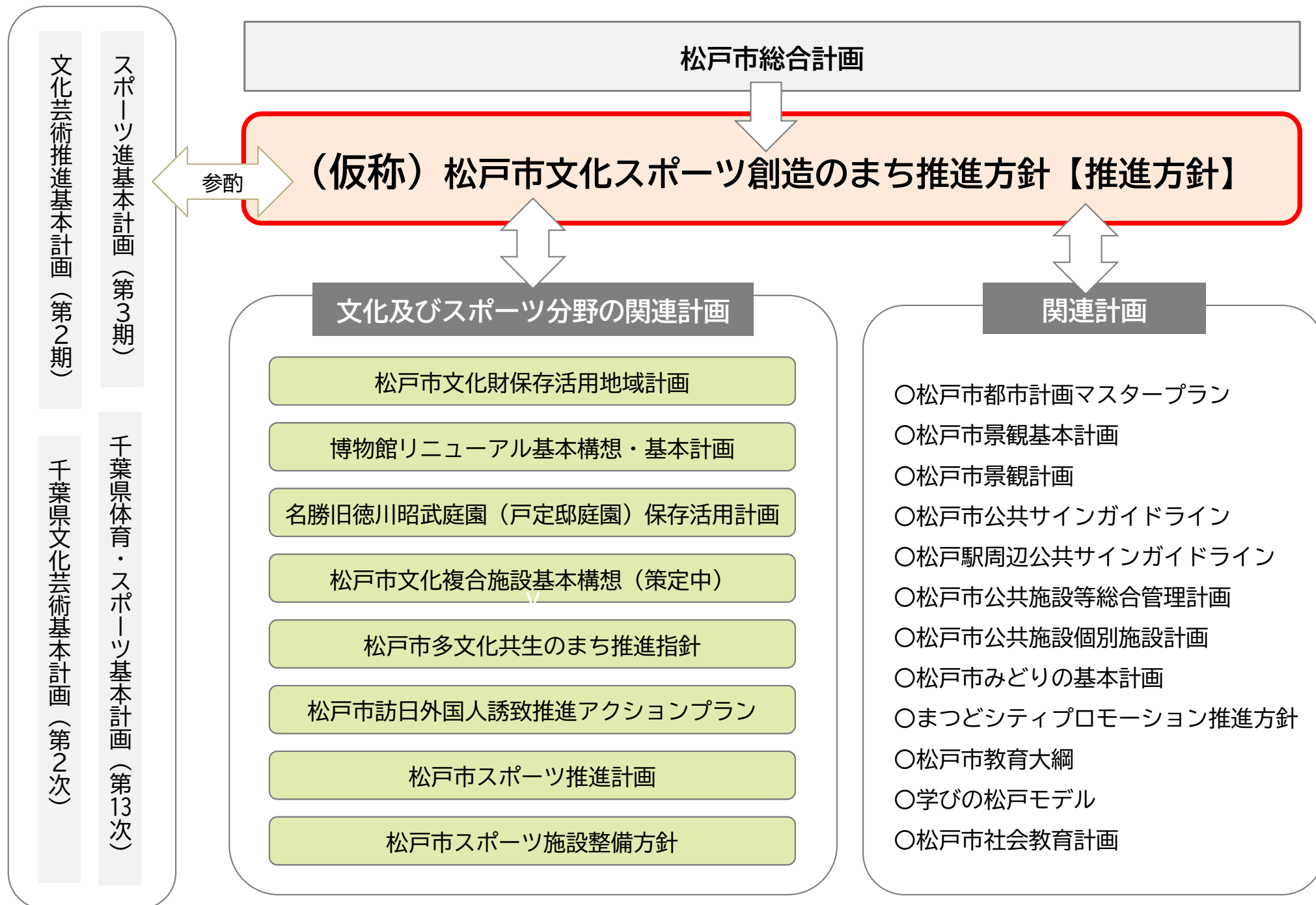
- ・ 本方針の位置付け
- ・ 文化芸術及びスポーツが果たす役割とまちづくり
- ・ 本方針が対象とする文化芸術及びスポーツの範囲

文化スポーツを通じたまちづくりに向けて、10年後の目指すまちの姿を明確にし、その実現のための方向性を体系化・構造化する

現状分析

- ・ 本市の現状と課題
- ・ 市民ニーズ
- ・ 他市比較等

2 推進方針の位置付け（案）



3 目指すまちの姿に関する今回までの議論

令和7年度第1回 松戸市文化スポーツ推進審議会

資料1

R6年度第1回 一市から提示ー

目指すまちの姿（仮）

文化スポーツを通じて

市民が「人生の豊かさ・楽しさ・Well-Being」を感じられるまち

- ・誰もが、日常的に文化芸術やスポーツに触れる環境を整備し、ライフステージにおけるQOLを向上させる
- ・取組とまちづくりとが連動し、活動がまち全体に広がる
- ・文化芸術やスポーツの多様性を活かし、様々な学び、交流、人との出会い等による新しい共創を通じて、インクルーシブ社会の実現を図る。

現状

文化芸術

●だれもが、多様な文化や芸術に親しめる環境づくり

パラダイス・エア、科学と芸術の丘、音楽フェスティバル、アートピクニック、エリアマネジメント事業等、文化施設の整備更新、博物館、戸定邸、戸定歴史館、ギャラリー等

●文化芸術団体やアーティスト等の育成と活動の支援

パラダイス・エア、科学と芸術の丘、音楽フェスティバル、アートピクニック、社会教育団体(文化)、市民文化祭、美術展、書道展等

●地域（伝統）行事等、歴史文化・文化財の保存活用

3大祭り(花火大会、松戸祭り、さくら祭り) 観光協会 博物館、戸定邸、戸定歴史館、美術品の収集、埋蔵文化財

スポーツ

●スポーツを楽しむきっかけの充実

●スポーツを支える人材・組織の育成と協働

→スポーツ団体、スポーツ推進員、地域の多様なスポーツ活動・地域のスポーツ大会、七草マラソン、パラスポーツ、デフスポーツなど

●身近なスポーツの場の整備と効果的な運用

→新規スポーツ施設の整備と既存施設の更新

●トップアスリートやプロスポーツの応援、連携・協働

→スポーツ協会、スポーツ推進委員、国際交流、アスリートの育成支援、など

R6年度第2回 ー委員からの意見等ー

文化芸術やスポーツの施策によって、どのようなまちづくりができますか

- ・表現する人にやさしい（寛容な）誰もが創造性を発揮できるまち
- ・個性への寛容、いわゆるインクルーシブなまちづくり
- ・子どもや青少年、様々な年代の市民が交流し、創造性を発揮できるアクティブなまちづくり
- ・若い人が失敗を恐れずチャレンジする土壌があるまち
- ・体も心も健康で、豊かな人生が送れるまち
- ・「松戸市民でよかった」と思えるまち。
- ・わくわくするような体験が出来るという期待感があるまち
- ・ゆるやかなコミュニティの形成による安心感と満足感があるまち
- ・子どもの頃に楽しいと感じた場所に、親になったときに子どもを連れて訪れる（愛着のあるまち）

実現のため、個々の活動や分野においてどのようなネットワーク化が必要ですか

- ・文化財保存地域計画におけるネットワーク化の考え方の理解
- ・市、教育委員会、文化振興財団の垣根を越えた政策の連携
- ・分野を超えた活動の場を増やし、相互に活性化できる取組を考え、広く地域に情報を提供する
- ・アート（文化、芸術）と市民、まちづくり団体、子育て団体、行政、教育機関等がつながる仕組み（アートパーク）
- ・健康という切り口で、様々な世代におけるスポーツの楽しみ方を味わうネットワーク作り
- ・文化芸術・スポーツの各種施設を一極集中で整備する
- ・障害者も利用しやすい施設整備や障害者の就労の場にもなるような売店やカフェなどの併設
- ・障害あるなしや年齢に問わず、健康づくりをねらいとするスポーツの取り組みが進む

R6年度第2回 ーゲストスピーカーからの意見ー

- ・松戸は人材資源、民間事業者が豊富だが、人材渋滞が起きるので弱みでもある。
- ・多様な人たちとかかわって、それぞれのリソースを集め、活動を作っていきながら、持続させ発展させる事業要素が重要。そういった意識を持っているコーディネーターが必要。

重点戦略1. 子ども・青少年が文化芸術・スポーツに夢中になれる環境づくり

- ・子ども・青少年の文化芸術・スポーツのアクセシビリティ向上
- ・部活動の地域移行を好機とした機会提供

重点戦略2. 文化芸術・スポーツの多様性が価値となる共生社会の実現

- ・多文化共生・共創の推進
- ・パラスポーツ・障がい者アートの推進

重点戦略3. 松戸ならではの文化芸術・スポーツの魅力と地域価値の向上

- ・稼ぐ力と市民の誇りにつなげる戦略的な取組
- ・スポーツツーリズムの推進（マラソン大会、サイクリングロード）
- ・スポーツを通じた健康寿命の延伸
- ・文化財を活用した文化観光の高付加価値化

重点戦略4. まち全体が文化芸術・スポーツの活動の舞台となる活動空間の創造と戦略的活用

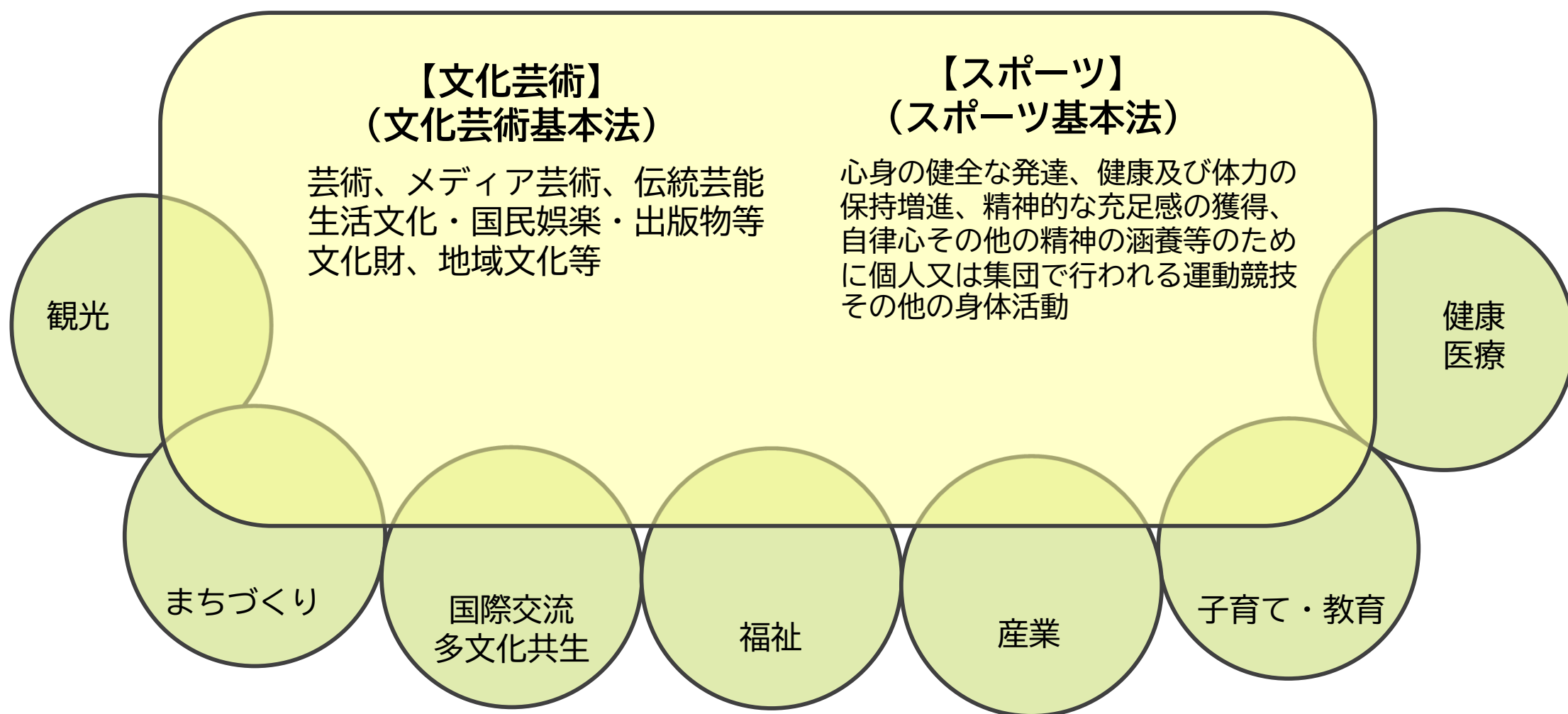
- ・公共施設の機能更新・複合化
- ・ユニークベニユーの発掘・活用

重点戦略5. 共創を駆動する持続可能な文化芸術・推進基盤（プラットフォーム）の構築

- ・地域版アーツカウンシルの検討
- ・松戸駅周辺にぎわい創出に向けたエリアプラットフォームの構築

5 推進方針が対象とする文化芸術及びスポーツの範囲（案）

国の「文化芸術基本法」及び「スポーツ基本法」の趣旨をふまえて、文化芸術及びスポーツの固有の価値と意義を尊重しつつ、文化芸術やスポーツそのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策を本方針の範囲に取り込むとともに、文化芸術及びスポーツによる様々な価値を、その継承、発展及び創造に活用していきます。



6 推進方針の検討スケジュール（案）

時期		2024年度					2025年度													2026年度	
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
文化スポーツ推進審議会		●				●				●				●				●	●	●	
作業	策定概要の整理	●	→						●	諮問								●	答申		
	現状と課題の整理						●	→													
	方針骨子の作成						●	→													
	方針の作成													●	→						
	公表																			●	
	議会説明																	●	→	●	

R7年第1回
(R7年7月30日)

- ・ 市からの諮問
- ・ 本方針の構成
- ・ 本方針が対象とする文化芸術及びスポーツの範囲
- ・ 重点戦略について

R7年度第2回
(R7年11～12月頃)

- ・ 方針骨子(案)について

R7年度第3回
(R8年2～3月頃)

- ・ 方針(案)について
- ・ 審議会からの答申

R8年度第1回
(R8年5～6月頃)

- ・ パブリックコメントの結果
- ・ 方針の公開について